

2013年4月9日

東大路通渋滞対策連絡会

世話人	毘沙門町町内会長	村上増幸
	(前 消防団分団長)	
〃	清水四丁目西町町内会長	涌波 隆
〃	月見町町内会長	川寄喜蔵
〃	辰巳町町内会長	久保伊三夫
〃	清水学区自主防災会会長	松井武司

「東大路通り再整備計画」作成について
地域住民に合意を得ることを求める申入れ書

私たちは、清水地域住民を中心として組織する任意団体として、2013年1月29日に、「東大路通渋滞対策連絡会」を発足させました。

京都市は、2012年8月、東大路通りの歩道拡幅を主な内容とした「東大路通り再整備計画」を発表されました。長年に渡って、東大路通りの渋滞に苦しめられてきた私たち地域住民は、東大路通りの渋滞が車線数を減らすことによって、今まで以上にひどくなることを大変危惧しております。

ついては、私たちが具体的に危惧している内容について別紙に記載しておりますので、十分にご検討、ご理解いただき、以下の項目について文章にて回答することを求めます。

記

1. 東大路通再整備計画の作成にあたっては、車線数減少の結論ありきではなく、住民の意見に十分に耳を傾け、合意を得ること。
2. 大地震発生に、地域住民の生命や世界に類を見ない文化遺産群をいかに守るかということ、現在恒常的に起きている停滞や、観光シーズンに発生している大渋滞をふまえた解決策を、科学的根拠に基づき具体的に説明すること。
3. 車線数減少について、慎重・反対という意見をもつ団体、とりわけ地域住民で組織する当団体との話し合いの機会を十分に持つこと。
また、どのように機会を持つか、具体的に提示すること。
4. 当団体が東大路通りの再整備について話し合うために、会議室として京都市の施設を借りる場合には、異議なく提供すること。

以上